

事業評価シート

番号 1340050 1

【1.基本情報】

事業名	一般ごみ収集				
担当部名	環境部	担当課名	環境事業課		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	6 - 3 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和20 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

【2.事業概要】

事業の目的	一般廃棄物(家庭系普通ごみ・カン・ビン・ペットボトル・学校生ごみ等)の適正処理、快適な都市環境づくり。	
事業の内容	一般廃棄物の収集・運搬(粗大ごみ収集を除く。)	
事業の対象	何を	一般ごみの収集・運搬
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民及び学校
	どのくらい (具体的 数値で)	普通ごみ:週2回、カン・ビン・ペットボトル:週1回、学校生ごみ:随時、家庭用廃食用油・発砲スチロール・ペットボトルキャップ:月1回
平成30年度 (実施内容)	一般廃棄物の収集・運搬(普通ごみ(週2回)ノカン・ビン・ペットボトル(週1回)ノ学校生ごみ(随時))家庭系廃食用油・発砲スチロール・ペットボトルキャップ(月1回)の回収	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	703,456	23,140	703,456	23,140	703,456	23,140
嘱託職員	110,160	10,800	110,160	10,800	110,160	10,800
アルバイト	616	140	616	140	616	140
計(A)	814,232	34,080	814,232	34,080	814,232	34,080

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		863,404	890,880	863,404
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	一般家庭ごみ収集委託	563,299	595,589	524,518
	ビン・ペットボトル分別収集	104,652	105,300	110,484
	車両燃料費	26,758	26,208	30,806
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		863,404	890,880	863,404

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	1,677,636	1,705,112	1,677,636

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	5,619	5,762	5,706
その他			
計(F)	5,619	5,762	5,706

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	1,672,017	1,699,350	1,671,930

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	412,589	412,254	410,297
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,053	4,122	4,075

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	一般廃棄物受入量	単位	t
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			
実績値	126,168	125,645	124,661

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名		単位	
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			
実績値			

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	法により、市内の一般廃棄物の適正処理に必要な措置を講ずることは市の責務であり、必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	一般廃棄物は自区内処理を原則とするが、適正な処理が困難な廃棄物については他市町村との事前協議を経て、域外処理する場合もある。 民間事業者に収集運搬業務の一部を委託している。 ごみステーションの管理を自治会と協働で実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	一般廃棄物は適正処理されている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者及び受益者負担は適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。

事業評価シート

番号 1340050 2

【1.基本情報】

事業名	粗大ごみ収集				
担当部名	環境部	担当課名	環境事業課		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	6 - 3 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和40 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

【2.事業概要】

事業の目的	一般廃棄物(粗大ごみ・廃蛍光管・廃乾電池等)の適正処理、快適な都市環境づくり。	
事業の内容	一般廃棄物(粗大ごみ・廃蛍光管・廃乾電池等)の収集、指導、電話予約受付(粗大ごみ受付センター)	
事業の対象	何を	粗大ごみ・廃蛍光管・廃乾電池収集
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民
	どのくらい (具体的 数値で)	随時
平成30年度 (実施内容)	一般廃棄物(粗大ごみ・廃蛍光管・廃乾電池等)の収集、指導、電話予約受付(粗大ごみ受付センター)	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	142,272	4,680	142,272	4,680	142,272	4,680
嘱託職員	6,120	600	6,120	600	6,120	600
アルバイト	31,680	7,200	31,680	7,200	31,680	7,200
計(A)	180,072	12,480	180,072	12,480	180,072	12,480

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		266,806	267,557	281,788
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	粗大ごみ収集委託	242,793	242,793	254,934
	廃蛍光管・廃乾電池収集	24,013	24,764	26,854
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		266,806	267,557	281,788

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	446,878	447,629	461,860

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	170,162	185,164	206,679
その他			
計(F)	170,162	185,164	206,679

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	276,716	262,465	255,181

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	412,589	412,254	410,297
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	671	637	622

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	粗大ごみ受入日数(土日)	単位	日
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	24	24	24
実績値	24	24	24

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	粗大ごみ受入件数(土日)	単位	件
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	8,244	8,244	8,244
実績値	7,921	8,389	9,672

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	法により、市内の一般廃棄物の適正処理に必要な措置を講ずることは市の責務であり、必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	一般廃棄物は自区内処理を原則とするが、適正な処理が困難な廃棄物については他市町村との事前協議を経て、域外処理する場合もある。 既に民間事業者収集運搬業務の一部を委託している。また、収集運搬業の許可を民間事業者に出している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	一般廃棄物は適正処理されている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者及び受益者負担は適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。

事業評価シート

番号 1340050 3

【1.基本情報】

事業名	都市美化清掃ごみ収集				
担当部名	環境部	担当課名	環境事業課		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	6 - 3 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和20 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

【2.事業概要】

事業の目的	一般廃棄物(都市美化活動ごみ)の適正処理、快適な都市環境づくり。	
事業の内容	自治会や河川の管理者等、清掃活動を行う当事者からの連絡により、一般廃棄物(町内清掃や河川敷等の都市美化活動ごみ)の収集を行う	
事業の対象	何を	町内清掃等で出たごみの収集
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民
	どのくらい (具体的 数値で)	随時
平成30年度 (実施内容)	自治会や河川の管理者等、清掃活動を行う当事者からの連絡により、一般廃棄物(町内清掃や河川敷等の都市美化活動ごみ)を収集	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	23,712	780	23,712	780	23,712	780
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	23,712	780	23,712	780	23,712	780

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		7,673	8,145	8,355
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	自動車借上	7,673	8,145	8,355
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		7,673	8,145	8,355

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	31,385	31,857	32,067

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	31,385	31,857	32,067

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	412,589	412,254	410,297
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	76	77	78

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	都市美化清掃開催日数		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	800	800	800
実績値	855	883	864

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名			単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			
実績値			

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	法により、市内の一般廃棄物の適正処理に必要な措置を講ずることは市の責務であり、主体的に実施する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	直営収集と業者借上げ等を適切に組み合わせることで市民が集めた廃棄物を効率的に収集することができる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	一般廃棄物は適正処理されている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者及び受益者負担は適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。

事業評価シート

番号 1340050 4

【1.基本情報】

事業名	リサイクルセンター管理				
担当部名	環境部	担当課名	環境事業課		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	2 - 3 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成9 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

【2.事業概要】

事業の目的	リサイクルの推進	
事業の内容	岐阜市リサイクルセンター内で資源物(ビン・ペットボトル、カン)の選別・出荷・売却等	
事業の対象	何を	収集した資源物(ビン・ペットボトル、カン)
	誰に (対象者・対象者数)	適正に分別
	どのくらい (具体的 数値で)	収集した量
平成30年度 (実施内容)	岐阜市リサイクルセンター内で資源物(ビン・ペットボトル、カン)の選別・出荷・売却等	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	23,712	780	24,726	780	24,726	780
嘱託職員	10,200	1,000	10,300	1,000	10,300	1,000
アルバイト	0		0		0	
計(A)	33,912	1,780	35,026	1,780	35,026	1,780

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		143,310	145,919	150,413
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	選別作業委託	75,492	77,436	84,888
	ガラス残渣再生委託	31,239	29,024	30,774
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		143,310	145,919	150,413

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	177,222	180,945	185,439

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	55,315	61,898	61,889
計(F)	55,315	61,898	61,889

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	121,907	119,047	123,550

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	412,589	412,254	410,297
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	295	289	301

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	資源物受入量		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			t
実績値	6,263	6,173	6,180

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名			単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			
実績値			

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	法により、市内の一般廃棄物の適正処理に必要な措置を講ずることは市の責務である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	施設の効率的な運営に資するために公設民営で民間活力を生かす等の手法を検討することは重要である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	一般廃棄物は適正に処理されている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者及び受益者負担は適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。

事業評価シート

番号 1340050 5

【1.基本情報】

事業名	不法投棄防止対策				
担当部名	環境部	担当課名	環境事業部		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	6 - 3 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成11年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

【2.事業概要】

事業の目的	廃棄物の適正処理の徹底を図り、不法投棄を未然に防止するとともに、不法投棄に対しては厳正な態度で対応し、快適な都市環境づくりに寄与する。	
事業の内容	不法投棄防止対策の強化(不法投棄防止週間・年末・年度末の夜間パトロール、不法投棄張り付け監視、不法投棄監視モニターの委嘱等)	
事業の対象	何を	不法投棄防止対策
	誰に (対象者・対象者数)	不法投棄者
	どのくらい (具体的 数値で)	随時
平成30年度 (実施内容)	不法投棄防止対策の強化(不法投棄防止週間・年末・年度末の夜間パトロール、不法投棄張り付け監視、不法投棄監視モニターの委嘱等)	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	110,656	3,640	110,656	3,640	110,656	3,640
嘱託職員	12,240	1,200	12,240	1,200	12,240	1,200
アルバイト	0		0		0	
計(A)	122,896	4,840	122,896	4,840	122,896	4,840

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		3,230	3,230	3,230
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	夜間パトロール委託	1,257	1,296	1,271
	処理困難物回収等処理業務	323	323	323
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		3,230	3,230	3,230

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	126,126	126,126	126,126

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	126,126	126,126	126,126

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	412,589	412,254	410,297
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	306	306	307

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	不法投棄監視モニター委嘱	単位	円
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	672,000	672,000	672,000
実績値	665,161	672,000	660,000

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	不法投棄件数	単位	件
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			
実績値	563	497	574

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	廃棄物の適正排出を促す方策として、ルールの啓発と違反者の取り締まりは一体として必要であり、行政が主体的に実施すべきものである。 警察や他の部局との連携は必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	夜間パトロール等で民間事業者を活用している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	一般廃棄物は適正処理されている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者及び受益者負担は適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。

事業評価シート

番号 1340050 6

【1.基本情報】

事業名	し尿収集				
担当部名	環境部	担当課名	環境事業課		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	6 - 3 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和27年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

【2.事業概要】

事業の目的	一般廃棄物(し尿)の適正処理及び清潔で美しいまちづくり	
事業の内容	一般家庭又は施設の汲取り式便所(仮設トイレ含む)からの一般廃棄物(し尿)の収集	
事業の対象	何を	一般廃棄物(し尿)
	誰に (対象者・対象者数)	し尿収集の申し込みをした世帯
	どのくらい (具体的 数値で)	収集間隔23日(一世帯あたり年間15.9回の収集)
平成30年度 (実施内容)	一般家庭又は施設の汲取り式便所(仮設トイレ含む)からの一般廃棄物(し尿)の収集	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	53,690	1,820	63,232	2,080	63,232	2,080
嘱託職員	16,160	1,600	14,280	1,400	14,280	1,400
アルバイト	0		0		0	
計(A)	69,850	3,420	77,512	3,480	77,512	3,480

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		53,946	55,530	59,632
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	収集委託	48,745	47,191	44,122
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		53,946	55,530	59,632

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	123,796	133,042	137,144

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	41,902	42,222	39,242
その他			
計(F)	41,902	42,222	39,242

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	81,894	90,820	97,902

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	412,589	412,254	410,297
受益者負担額(千円)	41,902	42,222	39,242
受益者負担率(%)	33.8%	31.7%	28.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	198	220	239

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	汲み取り戸数	単位	戸数(述べ)
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			
実績値	46,124	44,492	41,166

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	汲み取り量	単位	KL
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			
実績値	5,200	5,066	4,630

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	法により、市内の一般廃棄物(生活排水)の適正処理に必要な措置を講ずることは市の責務であり、必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	既に民間事業者に収集運搬業務の一部を委託している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	一般廃棄物は適正に処理されている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者及び受益者負担は適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。

事業評価シート

番号 1340050 7

【1.基本情報】

事業名	プラスチック製容器包装分別収集啓発事業				
担当部名	環境部	担当課名	環境事業課		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	6 - 3 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成29年度～	年度	根拠法令 関連計画※	ごみ減量・資源化指針	

【2.事業概要】

事業の目的	プラスチック製容器包装の分別収集について、市民を対象にした説明会等を開催し、平成34年度に実施予定の同事業の円滑な導入を図る。	
事業の内容	チラシを作成するとともに、自治会や各種団体に対して出前講座を実施し、プラスチック製容器包装の分別収集の目的やその仕組みについて、市民の理解を深める。	
事業の対象	何を	プラスチック製容器包装の分別収集
	誰に (対象者・対象者数)	一般市民
	どのくらい (具体的 数値で)	毎月複数回の定例講座や、出前講座等
平成30年度 (実施内容)	講座125回(4,227人)、ごみ1/3減量大作戦通信Vol.2,3の発行。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		2,614	86	2,614	86
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	0	0	2,614	86	2,614	86

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	印刷物刊行費		70	132
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		0	70	132

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	0	2,684	2,746

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	0	2,684	2,746

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者		参加者	参加者
受益者数		1,462人	4,227人
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)		0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	講座実施回数	単位	回
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値		70	80
実績値		42	125

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	講座参加者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値		2,100	2,400
実績値		1,462	4,227

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	令和4年度に実施予定の同事業の円滑な導入を図るため、必要な啓発活動である。 一般廃棄物の処理は基礎自治体に委ねられた業務であり、ごみ減量・資源化も市が実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	ごみ減量・リサイクル講座やイベントを活用し、情報発信している。 広域、民間活用は困難であり、プラスチック製容器包装の分別収集の方法について検討をしている現時点では市民協働による取り組みも難しい。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	講座参加者数が年々増加しており、講座を使った啓発は有効である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	年間約100回実施するごみ減量リサイクル講座で周知し、あらゆる市民が参加できる機会を創出している。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	分別収集開始まで、市民の理解を深めるため継続していく。